

公費解体の進捗状況（令和7年9月末）



・解体見込棟数 42,710棟（別管理建物※を除く）の **88.0%**となる **37,584棟**の解体が完了

・9月単月 計画: 3,323棟 実績: 2,008棟 達成率:60.4%

・9月末累計 計画:40,134棟 実績:37,584棟 達成率:93.6%

※別管理建物：修繕・利活用を申し出た建物、土砂崩れで解体できない建物、解体に時間を要する大規模建物など、市町がやむを得ないと判断した建物

実行計画【R6.2】
解体見込22,499棟

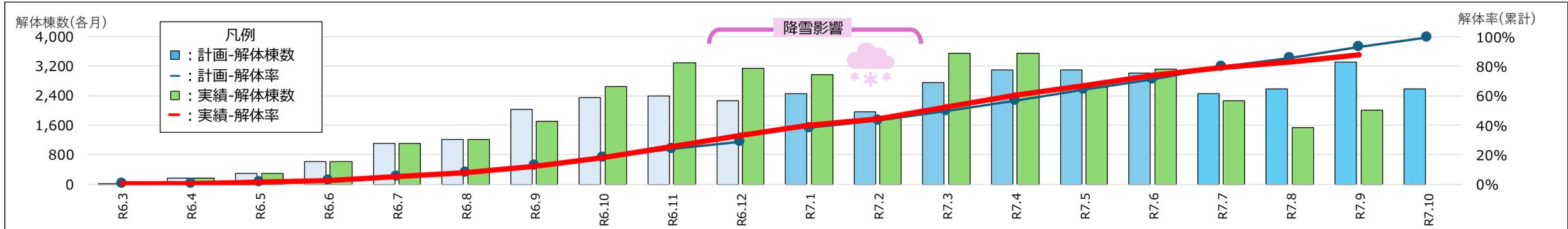
加速化プラン【R6.8】
解体見込32,410棟

加速化プラン【R7.1】
解体見込39,235棟

加速化プラン【R7.7】
解体見込44,953棟

解体計画	R6.3		R6.4		R6.5		R6.6		R6.7		R6.8		R6.9		R6.10		R6.11		R6.12		R7.1		R7.2		R7.3		R7.4		R7.5		R7.6		R7.7		R7.8		R7.9		R7.10		解体見込棟数	別管理建物
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲					
①解体棟数（各月）	15	163	288	610	1,112	1,208	2,036	2,348	2,400	2,265	2,450	1,958	2,747	3,096	3,100	3,006	2,449	2,584	3,323	2,576	44,953	2,243																				
②"（累計）	15	178	466	1,076	2,188	3,396	5,432	7,780	10,180	12,445	16,602	18,560	21,307	24,403	27,503	30,509	34,227	36,811	40,134	42,710																						
解体実施率（累計）	0.0%	0.4%	1.1%	2.5%	5.1%	7.9%	13%	18%	24%	29%	39%	43%	50%	57%	64%	71%	80%	86%	94%	100%																						
③解体実績（各月）	15	163	288	610	1,112	1,208	1,700	2,638	3,286	3,132	2,960	1,832	3,541	3,546	2,629	3,118	2,263	1,535	2,008																							
④"（累計）	15	178	466	1,076	2,188	3,396	5,096	7,734	11,020	14,152	17,112	18,944	22,485	26,031	28,660	31,778	34,041	35,576	37,584																							
解体率（見込・累計）	0.0%	0.4%	1.1%	2.5%	5.1%	8.0%	11.9%	18.1%	25.8%	33.1%	40.1%	44.4%	52.6%	60.9%	67.1%	74.4%	79.7%	83.3%	88.0%																							
計画達成率（各月） （③÷①）						100%	83%	112%	137%	138%	121%	94%	129%	115%	84.8%	104%	92.4%	59.4%	60.4%																							
計画達成率（累計） （④÷②）	-	-	-	-	-	100%	94%	99%	108%	114%	103%	102%	106%	107%	104%	104%	99.5%	96.6%	93.6%																							

解体見込棟数
（別管理建物を除く）



※令和6年能登半島地震と令和6年奥能登豪雨の合計
※解体見込棟数は、加速化プラン【R7.7】の棟数。別管理建物の棟数は、最新値

市町別の進捗状況（令和7年9月末）



・穴水町で97%、志賀町で95%、珠洲市で94%の公費解体が完了

市町	解体見込棟数 〔R7.7加速化プラン〕 A	申請棟数 B	完了棟数 C	別管理建物 D			解体率 (見込棟数あたり) C÷(A-D)	解体率 (申請棟数あたり) C÷(B-D)	解体未完了 (見込棟数あたり) A-C-D	解体未完了 (申請棟数あたり) B-C-D	
				公費解体	緊急解体	自費解体					
珠洲市	8,499 〔57〕	8,507 〔57〕	7,825 〔45〕	7,664 〔45〕	111 〔0〕	50 〔0〕	171 〔5〕	94.0% 〔86.5%〕	93.9% 〔86.5%〕	503 〔7〕	511 〔7〕
輪島市	12,808 〔217〕	12,461 〔214〕	10,741 〔77〕	10,421 〔77〕	259 〔0〕	61 〔0〕	670 〔0〕	88.5% 〔35.5%〕	91.1% 〔36.0%〕	1,397 〔140〕	1,050 〔137〕
能登町	4,456 〔18〕	4,474 〔18〕	3,867 〔18〕	3,777 〔18〕	2 〔0〕	88 〔0〕	10 〔0〕	87.0% 〔100%〕	86.6% 〔100%〕	579 0	597 0
穴水町	2,819	2,795	2,698	2,659	0	39	27	96.6%	97.5%	94	70
七尾市	7,500	7,154	4,883	4,342	0	541	674	71.5%	75.4%	1,943	1,597
志賀町	5,104	4,931	4,436	4,041	9	386	424	94.8%	98.4%	244	71
上記以外の市町	3,767	3,747	3,134	2,730	4	400	267	89.5%	90.1%	366	346
計	44,953 〔292〕	44,069 〔289〕	37,584 〔140〕	35,634 〔140〕	385 〔0〕	1,565 〔0〕	2,243 〔5〕	88.0% 〔48.8%〕	89.9% 〔49.3%〕	5,126 〔147〕	4,242 〔144〕

※令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨の合計。〔 〕は、令和6年奥能登豪雨分であり、上段の棟数の内数

- ・現状の解体ペースを維持すれば、**10月末の解体率は、県全体で93～95%**と、公費解体加速化プランで設定した10月末での**解体完了目標をおおむね達成の見込**
- ・一方で、解体完了が**11月以降にずれ込む建物は、別管理建物を除き、2,000～3,000棟**となる見込
- ・ずれ込む棟数が最も多いと見込まれるのは七尾市であり、その理由としては、申請期限を最も遅く設定したことで公費解体の体制整備が遅れたことや、駆け込み申請が多かったことなどが挙げられる
- ・11月以降も、できるだけ早期に解体を完了するとともに、令和8年3月末の災害廃棄物の処理完了を目標として、**工程管理会議などを通して、引き続き、市町を支援していく**

七尾市の進捗が遅い理由

- ・被災者に配慮して、申請期限を遅く設定したことにより、当初、解体の申請が伸びず、解体の体制整備が遅れたこと（七尾市 R7.8、他5市町 R7.1～R7.6）
- ・駆け込み申請が多かったこと（8月以降 780棟）
- ・半壊以上の被害認定棟数が増加したこと（R6.8→R7.8：県全体1.1倍、七尾市1.8倍）

現在、
・専門コンサルタント
・解体班
の体制を強化中

